

2020年8月12日

名古屋市長
河村たかし 様

革新市政の会
代表 早川純午

新型コロナの危機的な感染拡大を抑止し市民のいのちと健康を守る緊急申し入れ

新型コロナの危機的な感染拡大抑止のために大奮闘されていることに敬意を表します。

愛知県は6日に、感染を押さえ込むための県独自の緊急事態宣言を出しましたが、とくにコロナ患者は名古屋市内に集中し市内の病床は逼迫していると言われています。専門家組織は6日に、「愛知では感染者の増加に検査が追いついていない可能性」を指摘しています。

安倍政権は、感染は広がっても経済は回すというアメリカやブラジルがとった対策をとり、「Go To トラベル」に固執しましたが、このようなやり方でうまくいった国は一つもなく、感染をしっかり押さえ込むことが経済活動への前提です。

いま緊急にやるべきは、感染経路を遮断するために、感染震源地で強力な対策を短期的に行うことです。名古屋市長が、市民のいのちと健康を守るために最善を尽くされるよう、緊急に申し入れます。

記

1. PCR検査の体制を抜本的に拡充し、医師が必要と判断したら「だれでも、いつでも、何度でも、無料で」検査が受けられる体制を早急に確立すること。感染震源地では地域や集団、組織全体に対して検査が実施できるようにすること。
2. 医療機関、介護・福祉施設、保育園・幼稚園、学校など集団感染のリスクが高い施設で働く職員、出入り業者には定期的な検査を行うこと。
3. 重症化した感染者が速やかに必要な治療ができるよう入院体制、無症状や軽症者の宿泊療養施設の拡充を早急に行うこと。自宅での待機は感染の恐れがつよく、速やかに回避する体制をとること。
4. 保健所・保健センターについて、人員を含めた抜本的な体制強化を行い、感染症対策以外の業務にも支障が出ないような体制とすること。